第 45 回技術士全国大会(福島) 視察報告



四国建設コンサルタント(株) 大村 史朗 Ohmura Shiro (建設部門)

1. はじめに

先の話と思っていた第 46 回技術士全国大会(四国・徳島) (2019年10月5日(土)~8日(火))まで、いよいよ1年を切った。全国大会実行委員会の開催は11月までに6回を数え、検討内容は大枠からディティールに移りつつある(たぶん)。全国大会(四国・徳島)前の最後の先行事例として、第45回技術士全国大会(福島)を以下のとおり視察した。

視察日: 平成 30 年 11 月 10 日(土)~12 日(月)

(13、14日のテクニカルツアーは不参加)

場所:福島県郡山市

大会テーマ:「未来技術の創生と展望~

巨大災害を生き抜く~」

参加者: 古野相談役、冨士会長、菊池副会長、天 羽理事、豊崎理事、花岡理事、佐藤理事、大村他(と その奥様方)

2. 大会日程

第 45 回大会の日程を以下に示す。大会テーマのもと、2 日目の大会式典・記念講演をコアとし、1 日目の特別分科会、関連行事、2 日目の各分科会、パネル展示等が 3 つの会場で実施されるほか、各日程にはウェルカムパーティー、パートナーズツアー、交流パーティー、数種のテクニカルツアー等が企画され、技術研鑽のみならず、地域文化・歴史の体験、技術士間の交流等が図られている。

表-1 第45回大会の日程

	-	20	יו נא	OBICA	
日程		行事名	時間	場所	内容
11月 11日(日)	特別分科会		13:30~16:30	郡山ビューホテルアネックス	ふくしま未来委員会「ふくしまの未来を考える」
	関連行事		下記に記載	ビッグアイ 他	①全国防災連絡会議 ②技術者倫理情報連絡会 ③機械部会講演会交流会 その他各部会
	ウェルカムバーティー		17:30~19:30	部山ビューホテルアネックス	アトラクション/フラダンスショー
12日(月)	分科会		9:30~12:00	ホテル ハマツ	①防災 ②再エネ ③食と農 ④男女共同参画
	大会式典·記念講演		13:00~17:20	11	オープニングコーラス 大会宣言など
	交流パーティー		18:00~20:00	II .	東北のおもてなし/福島大学アカペラサークル
	パネル展示		8:30~18:00	11	東日本大震災、農業・漁業・林業の復興等
	パートナーズツアー		9:00~17:00	郡山ビューホテルアネックス発 ホテルハマツ着	美空ひばり適影碑・歌碑 スパリゾートハワイアンズ等
13日(火)	テクニカ	【A】福島県金賞酒蔵めぐり (日帰り)	8:00~17:00	郡山ビューホテルアネックス発 郡山駅着	末廣酒造嘉永蔵、鶴ヶ城、宮泉酒造、飯盛山 安積疏水土地改良区等
		【B-1】原子力発電所視察 (日帰り)	8:00~18:30	部山ビューホテルアネックス発 仙台駅着	楢葉速隔技術開発センター 東京電力福島第一原子力発電所等
13日(火) 14日(水)	ルツアー	【B-2】原子力発電所視察 (1泊2日) 翌日はCと合流	8:00~翌17:30	部山ビューホテルアネックス発 歌山駅着	楢葉遠隔技術開発センター、東京電力福島第一 原子力発電所、鶴ヶ城、地熱発電所等
		【C】再生可能エネルギー視察 (1泊2日) 翌日はB - 2と合流	8:30~翌17:30	裁山ビューホテルアネックス発 教山駅着	福島県環境創造センター、産総研福島再生可能 エネルギー研究所、鶴ヶ城、地熱発電所等

(詳細は HP 参照)

3. 視察概要

3.1 申し込み

全国大会への参加、宿泊申込は、旅行代理店への FAX もしくはホームページより行う。受付は 8 月1日に始まったが、希望していた福島第1原子力発電所視察を含むテクニカルツアーは 8 月中旬に定員に達しており、参加できず残念であった。



写真-1 申込画面とツアー満員御礼のお知らせ

3.2 大会前日

徳島から羽田までは飛行機で 70 分、郡山までは新幹線で 80 分。高速移動手段の利便性、重要性を改めて痛感する。

ホテルに着くと、郡山のコンベンションビューロー(自治体等が中心となり国内外から会議や観光客等を誘致する組織)の歓迎ポスターが出迎えてくれた。このポスターは各ホテル、会場の他、飲食店街でも多く見かけ、町全体で技術士全国大会への歓迎ムードを感じることができた。



写真-2 歓迎のポスター

3.3 大会1日目

1日目の日中は、関連行事、特別分科会で構成 される。9時過ぎから各専門会議の技術士の方々 が集まり、忙しく準備を始める。



写真-3 各専門会議の準備状況(技術者倫理)

案内表示等は、ホテルではなく技術士の手作りだ。フロア全体の案内表示は、初めは情報不足の感があったが時々刻々と更新され、技術士の対応力の高さを感じた。我々は事前に準備しておこう。

施設時間	午前10時~正午	午後1時~午後5時
展示室	展3 手づくリニット&1ドイアス編作品展示会	(間(重)[1月10日(生)[1日(日) AM 10~PM 6
大会議室1	(公社) 日本技術士会 福島県支部 様	(公社)日本技術士会 福島県支部 様
大会議室2	u:	u.
第1会議室	"	"
第2会議室	ai .	"
第3会議室	n	"

写真-4 案内表示(9:45)

施設	午前10時~正午	午後1時~午後5時
展示章	展3 手づくリニット&1ドイアス編作品展示会	(間(数>(1月10日(年)11日(日) AM 10~ PM 6
大会議室1	(公社) 日本技術士会 福島県支部 攥	(公社) 日本技術士会 福島県支部 様
大会議室2	" (附货)[1:00-	(建設) (静脉均域)13;30
第 1 会議室	"(倫理》	
第2会議室	// (情報)10.80^	(稅府水港台) H:00-
第3会議室		拨行地 (応用)

写真-5 案内表示(10:45)

午前は、昨年同様全国防災連絡会議に参加した。 統括本部、各地域本部から、各々の活動実績報告、 情報提供等が行われた。東北本部の、東日本大震 災からの復旧を踏まえた防災活動の体系的な報告 は、士業連携も含め、我々技術士が社会に貢献で きること、また取り組まなければならないことが まだまだ多いことがよくわかる。

徳島県技術士会からは、天羽理事が、徳島県美

波町由岐地区の「ごっつい由岐の未来プロジェクト」や、高知県室戸市佐喜浜町の「津波避難シェルター見学会及び意見交換会」について報告した。地域の自主防災組織との協働による事前復興への具体的な取組みは、各地域本部報告のなかでも目を引き、パワーポイントの熟度の高さも含め、高い評価をいただいていたように思う。



写真-6 四国本部報告(天羽理事)

会議の最後には、全国大会(四国・徳島)の PR の時間もいただいた。



写真-7 全国大会(四国・徳島)の PR

その他、1日目にビッグアイで行われた各専門会議概要を、以下にまとめる。(午後は特別分科会に出席したため、確認できず)

表-2 1日目専門会議の概要(ビッグアイ)

時間	行事名	参加者概数
AM	全国防災連絡会議	50 名
	技術者倫理連絡会	50 名
	建設部会交流会	60 名
	情報工学部会	30 名
PM	機械水産合同部会	(未確認)
	応用理学部会	(未確認)

午後は、郡山ビューホテルアネックスにて、「ふくしまの未来を考える~未来・創生~」をテーマとした特別分科会に参加した。【参加者約300名】 受付は、次第に混雑の度を増している。



写真-8 1日目の受付状況

特別分科会の第1部では、福島大学の4年生である上石美咲氏が、「きずなのちから」と題し講演を行った。大学生が、ミスピーチ等としての PR 活動を通じ地元福島の魅力に気づき、人とのきずなのちからにより、原発視察による事故の課題を含め福島の「今」を発信するようになったという過程を、柔らかくスピーチされた。新鮮でした。



写真-9 「きずなのちから」

第2部では、福島大学学長の中井勝巳氏をコーディネーターとし、NPO福島環境カウンセラー協会特別顧問、放送大学所長、高等学校校長、東京電力社員、日本技術士会会員の方々をパネリストに迎え、パネルディスカッションが行われた。

各々の立場で各々の意見が述べられたが、コーディネーターがそれらの関連づけを行い、テーマに沿った議論として集約していくのを拝聴するのは気持ちが良い。

立場が違えど、皆が「ふくしまの未来」のため

に尽力していることが伝わってくる。合意に至らないまでもこのような同じ場で意見を交換し、互いの熱意を感じ合うことも、事故を超えたふくしまの未来・創生のためには大事なのかもと思う。



写真-10 パネルディスカッション

1 日目の最後を締めくくるのは、ウェルカムパーティーである。皆様のウィットに富んだ挨拶は 我々を飽きさせず、畠支部長の熱意に溢れる挨拶 には東北本部の皆様のご尽力を感じた。多数の参加により若干狭さを感じたものの、会はスムーズ に運営されており、全国大会(山口)からつながる おもてなしのこころを感じた。【参加者約350名】



写真-11 皆様のご挨拶



写真-12 ウェルカムパーティー全景



写真-13 フラダンス~今や福島の郷土芸能?



写真-14 地元でも手に入らない秘酒の数々

3. 4 大会 2 日目

2日目、大会式典当日である。朝8時には会場 に60名を超える東北本部の方々が集まり、吉川 東北本部長が檄を飛ばされていた。



写真-15 本番を迎える東北本部の方々(60名)



写真-16 吉川東北本部長の挨拶

午前中の分科会は、以下の4つ実施された。

表-3 1日目専門会議の概要(ビッグアイ)

分科会名	テーマ			
第1分科会【防災】	東日本大震災の教訓から南海トラフ地震への備え〜防災・減災,備えと支援のあり方を求めて〜			
第2分科会 【再エネ】	再生可能エネルギー先駆けの地・ ふくしまから未来へ〜首都圏への エネルギー供給拠点からの転換〜			
第3分科会 【食と農】	食と農の安全・安心と活性化~食 農分野の六次産業化と農村の将来 も見据えて~			
第4分科会 【男女共同 参画】	しなやかな女性の感性を科学技術 に活かす〜健全な男女共同参画を 目指して〜			

私は、昨年同様第1分科会【防災】に参加した。 レジエント(強靱)な社会に向け、地震工学視点で の防災のあり方、想定外の災害に備えレジリエン スを設計する方法、防災緑地からみる地域の再生 等、様々な観点から講演、議論が行われた。防災 には多様な切口が必要ということを改めて感じた。



写真-17 第1分科会【防災】

同じホテルのロビーでは並行してパネル展示が 行われた。イノベーションコースト構想等、特別 分科会の内容に関連する掲示もあり興味深かった。

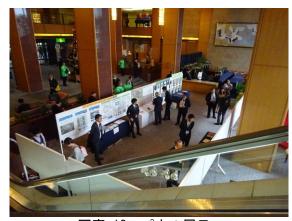


写真-18 パネル展示

午後からは、いよいよ大会式典である。オープニングコーラスとして、合唱の超名門校、安積黎明高等学校による合唱が始まった。校舎2棟が全壊という被害をくぐり抜けた歌声は、清らかでありつつ圧倒的で、感動した。



写真-19 オープニングコーラス

その余韻の中、大会式典は吉川東北本部長の歓迎の挨拶に始まり、高木日本技術士会会長の式辞、文部科学大臣の祝辞、来賓の方々の挨拶等と続く。この流れは厳粛に執り行われ、いつも、全国の技術士の方々の魂が一堂に会しているかのような錯覚にとらわれる。



写真-20 吉川東北本部長の歓迎の挨拶



写真-21 高木日本技術士会会長の式辞

大会宣言は、東北本部福島県支部の、矢吹優子 さんである。ゆっくりと、しっかりと、心強い声 で大会宣言を読み上げられた。この声のもと私の 技術者としての気持ちも引き締まったように思う。 大役おつかれさまでした。 【参加者約 600 名】



写真-22 大会宣言

閉会の挨拶の後は、「会津藩から学ぶ復旧・復興 の心構え」と題し、歴史作家星亮一氏による記念 講演が行われた。多少演題から離れたようにも思 えたが、仙台藩士、会津藩の、近代~現代に至る 歴史、心構えを大変面白く聴かせていただいた。



写真-23 記念講演

最後、各分科会を総括する分科会報告が行われ



写真-24 パネリスト等による分科会報告

分科会報告が終われば、交流パーティーである。 開会挨拶、来賓挨拶、福島大学学長の音頭による 乾杯と、華やかな雰囲気で会が流れる。東北本部 の皆様も、大会式典をやり遂げた高揚感で一杯の ようにみえる。おつかれさまでした。【約350名】



写真-25 鏡開き



写真-26 交流パーティー全景

東北本部の皆様とはうってかわって、県技術士会の皆様(奥様方含む)は緊張を高めつつあった。なぜなら、交流パーティーの後半に、今回視察のもう一つの目的である、来年の「第46回技術士全国大会(四国・徳島)」のPRを控えているからである。昨晩からリハーサルを重ねた成果はいかに。



徳島の PR ビデオが流れ始め



天羽理事のカネのもと舞台へ踊り込み



古野相談役、冨士会長、皆で四国・徳島のPR!



すだちくんも来てくれたよ

うまく PR できたかって?

皆様の笑顔を見れば、わかるでしょう!





4. おわりに

いよいよ来年、2019年10月5日(土)~8日(火) は四国・徳島の番です。現在、日本技術士会四国 本部長である古野相談役を委員長とした実行委員 会にて鋭意準備中ですが、成功には、徳島県技術 士会会員の皆様全員のお力が欠かせません。

皆様、何卒、ご協力お願い致します。